

中主っ子だよ！



〔中主小学校教育目標〕

心豊かでたくましい実践力のある中主っ子
～かんがえる子・やさしい子・げんきな子～

令和6年（2024年）1月12日
NO.11

TEL：589-2012
FAX：589-2025

2024年の幕開けです！



新しい年が明けました。しかし、1月1日には能登半島地震が発生し、今もなお苦しくつらい思いをされている方々がたくさんおられる状況が続いています。自然の驚異と命の尊さを改めて心に刻み、あたりまえではない毎日を大切に精いっぱい生きること…今一度考えたいと思います。1月9日の3学期始業式では、校長先生から、みんなが元気に登校してくれたこと、一人ひとりが今生きていてくれることへの奇跡と感謝、あたりまえではない毎日を大切に生きることについて話を聞きました。どの子も真剣な眼差しでした。

さて、今年度もいよいよまとめの時期（次年度への準備の時期）に入ります。今年度の自分の成長をじっくりと振り返り、次年度への意欲や希望を大きく膨らませていきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



PTAさんから声をあげていただいた地域学校協働活動

～年末に、子どもと一緒にトイレ掃除 ☆ トイレも心もピッカピカ！～

ありがとう
ございます！



年末の大掃除の日、子どもと一緒にトイレ掃除をしていただきました。たくさんの保護者様にご協力いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

みんなが毎日使うトイレこそ、日頃から次の人のことを思い、気持ちよく使えるようきれいにしておきたいです。けれども、なかなか行き届いていない現状を見て、“無理なく！気軽に！子どもと一緒に！”とPTAさんから声をかけていただき、実現しました。




今回のお心遣いに感謝しつつ、相手や周りの人や次の人のことを思いやって行動する気持ちを、様々な場面で育てていきたいと思えます。

- ☆大人4人で掃除してもトイレが広くて大変でした。定期的にクリーン活動を続けていければいいと思います。
- ☆汚れがひどかったです。掃除用具がもう少し充実すると思いました。
- ☆定期的に子どもと一緒に掃除しながら、掃除の仕方を伝える機会があればいいと思います。
- ☆常にきれいなトイレだと、自分が汚したら気づいて「拭いておこう」とか「きれいに掃除しよう」と思う気持ちが生まれると思います。
- ☆次回も参加したいと思いました。

～参加いただいた方の感想一部抜粋～

◇3月～4月初めの主な行事予定◇



日	月	火	水	木	金	土
					1 さよならの会 地域のみなさんあ りがとう会	2
3	4 委員会 5～6年	5 チュウズテイ (小中挨拶運動)	6 のびっこ②1年③3年	7	8 移動図書館(昼)	9
10	11 5校時日課 ハートタイム(朝)	12 5校時日課 中主中卒業式	13	14 卒業式前日準備 1～4年・6年:給食後下校 5年:5校時日課	15 卒業式 3校時日課	16
17	18 4校時日課	19 4校時日課	20 春分の日	21 給食終了 4校時日課	22 修了式・大掃除 3校時日課	23 春休み (～4/9)
24	25	26	27	28	29	30
31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6
4/7	4/8 	4/9	4/10 新任教・始業式 入学式 3校時日課	4/11 分団児童会③ 3校時日課	4/12 2～6年給食開始 4校時日課	4/13 

◇お知らせ1◇

「テトル」と「すぐメール」による メール配信に協力ください!

1月10日に新メール配信システム「テトル」のテスト配信をしました。

3学期はお試し期間として、学校からの連絡配信を、新メール配信「テトル」と、旧メール配信「すぐメール」の両方で行います。ご理解ご協力をお願いします。

◇お知らせ2◇

大谷選手のグローブが届きました!

始業式の日、ビッグニュース発表。大谷選手から3つのグローブが中主小に届いたことを聞き、子どもたちは目を輝かせ、大はしゃぎでした。

今、各教室をまわっています。感謝して、大切に使用させていただきたいと思えます。

野球しようぜ!



◆「認める声かけシャワー」大作戦 続行中!

12月の学校だよりでもお伝えしましたが、「いてくれてうれしいよ」「ありがとう」など、子どもの存在そのものを認める言葉かけや眼差しを、今、中主学区みんなで、子どもにかけ続け、心の安定と自己肯定感につなげていこうと考えています。

引き続き、この「認める声かけシャワー作戦」にご協力ください。

◆滋賀県遺族会次世代戦跡訪問

滋賀県遺族会次世代戦跡訪問研修事業で、3月23日(土)～25日(月)に野洲市から、5名の児童(中主小より4名)が鹿児島方面研修の旅に参加します。

この事業は、悲惨な戦争が風化されようとしていることを鑑み、戦争が二度と繰り返されることのないようにと、滋賀県遺族会が計画して実施されているものです。

戦争を知らない世代が8割をしめる中、研修参加者が学んだことをぜひ多くの人に広めてほしいなと願っています。